

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400180		
法人名	株式会社 タクト		
事業所名	グループホーム 観音堂		
所在地	秋田県大館市字観音堂391		
自己評価作成日	平成27年9月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成27年10月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事や水分補給等の時間以外は、殆どの業務を業務化せず、入居者様とのコミュニケーションを大切に、可能な限りお一人おひとりに合わせたケアの実施を心がけております。入浴も、お一人ずつ浴槽のお湯を張り替え、ゆっくりと入浴していただいております。とにかく、楽しく明るい生活の場を提供しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

各種の委員会を立ち上げて職員のスキルアップ、サービスの向上に繋げています。記録の仕方の研修を受け、より効果的な記録の仕方について課題となっており、活用の仕方を工夫しながら記録様式を見直すことを検討されています。職員は利用者が安心して自由に過ごせる環境づくりに努めています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	福祉事業部の理念を基に、自事業所の理念を構築、掲示し職員間で共有しております。	認知症になった時、利用者が何を望むかを考えてホーム独自の理念が作成されています。管理者は自分が入りたいホームを目指したいと常々職員に話し、地域との交流を図りながら、利用者が安心して暮らせるよう支援されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所の散歩を日課とし、挨拶を交わしたり会話をしたりしております。また、大々的に夏祭りを開催し、地域の方々に参加していただくことで交流の場を設けております。	実習の受け入れ、子供神輿の来訪があり、また、夏祭りは町内会の協力を得て開催され、家族や知人、地域住民も訪れてホームを知っていただく機会ともなり、地域の一員として利用者が暮らし続けられるよう努力されています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	ご家族様や地域の皆様に招待できるような行事を企画、実行したり、散歩での会話等を通じてご理解いただけるように努力しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者様の状況や施設内での出来事を報告し、皆様からの意見や助言を頂いております。会議内で、県北地区で認知症の研修が少ないことを市役所の担当の方にお話させてもらい、開催を検討していただいております。	参加者にホームの状況を報告して質疑応答が行われ、ホームの理解に繋げていけるよう取り組まれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	待機者様の状況や、他施設の待機情報のほか、大館地区での研修の機会を増やしてほしいなどの要望を伝え、検討していただいております。	運営推進会議に市及び包括支援センター職員の出席があり、会議を通じて情報収集や相談が行われています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行動指針を事務所に掲示して、職員に周知しているほか、新採用者には研修を行っています。また、夜間は防犯上施錠しますが、日中は施錠せず対応しております。	職員会議で行動指針に基づいて話をして理解に繋げ、身体拘束をしないことを共通の認識として取り組まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新採用者には、新任研修として行動指針を基に虐待防止(何が虐待に当たるのか)等の研修を行っています。日々の生活の中でも、虐待が起きないように注意を払い、防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修への参加、報告、内部研修を行い知識の習得に努めたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約をされる前に施設の見学をお勧めし、施設内を案内しながら説明をさせて頂いております。また、契約の際も、契約書をゆっくりと説明させてもらい、納得同意をしていただいた後に契約をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様やご家族様の意見や要望は、できる限り添える様に対応しております。また、職員には、日々の申し送りや連絡帳を活用し、周知しております。必要時には、市や国保連に報告し、指示を仰ぎたいと思っております。	家族の感謝の言葉を嬉しく思う反面、苦情等を言い出しにくい気持ちも理解されており、様々な機会を通じて意見が聞けるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や申し送り等で、職員の意見や提案を聞き、業務の改善に役立てております。	各種委員会を立ち上げ、委員からの提案に職員が意見を出し合って運営に活かす工夫をされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の性格や能力を考慮しつつ、楽しく笑顔で働ける職場の環境作りに努めております。資格習得や研修参加の場を設け、職員が向上心を持って働けるよう考慮しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は、その都度内容を確認した上で参加の有無や職員を選んでおります。また、研修参加後は、職員会議内で研修報告や、内部研修を行い、職員全体の知識向上になるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	できる限り外部の研修に参加し、他事業所との意見交換や交流に繋がる機会を設けておりますが、研修先が遠方のものが多く、参加できない状況でもあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談で必ずご本人様にお会いし、現状の把握に努めております。また、入居後はアセスメントシートを全職員に回覧しながら、ホーム内での生活をかくにんしつつ、ご本人様が安心して暮らすことができるような環境作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前やお申し込みの際、施設内の見学をお勧めし、施設の雰囲気を感じていただいております。また、面談は相談者様のご都合に合わせて、日時を決定しゆっくりとお話ができるように配慮しております。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	新採用者や、職員会議内で入居者様本位のサービスを提供することを話し合っております。またお一人おひとりに合わせた距離感で接し、一緒に家事を行ったりご自宅の延長上と思っただけのような関係性の構築に努めております。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも気軽に面会に来て頂けるような雰囲気作り、入居者様とご家族様が一緒に参加できるような行事の企画に取り組んでおります。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時に通われていた理美容院の継続や、ご友人の面会など馴染みの関係の継続に努めております。	家族と墓参りや帰宅、喫茶店に通う等、家族の協力も得ながらこれまでの生活で行われてきたことが継続できるよう支援されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は共有空間で過ごされている方が多いため、入居者様同士が関わりやすい環境作りに配慮しております。相性や認知症状にあわせ、席の配置を変えたり、職員は間に入り会話に参加することで良好な関係が築けるよう支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院で退所された方への面会の継続や、他施設への転居で退所された方のご家族様の相談に対応しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	訴えの困難な方は、ご家族様からの聞き取りや普段の生活状況から、全職員が話し合い検討し、ご本人様の希望、意向に添える様、努力しております。	職員は利用者に寄り添い、コミュニケーションを図りながら意向の把握に努め、情報を共有して介護計画の見直しに繋げています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅時の担当介護支援専門員やサービス利用施設からの情報提供を基に、可能な限り在宅中の生きがいや暮らし方の継続に努めております。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員が、入居者様それぞれの日を把握できるよう、介護記録をこまめに記録し、閲覧するようにしております。また、日々の申し送りやケア会議等で話し合い、現状の把握に努めております。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の意思を尊重しながら、ケア会議で話し合いを行い、ご本人様の現状に添った介護計画の作成に努めております。	利用者、家族の意向が反映できるようカンファレンスで職員全員で意見を出し合い、介護計画が作成されています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の状況をケア記録に残し、見直しや申し送り等で全職員が情報を共有しあうことで、ケアの実践や介護計画の見直しに活かしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様一人ひとりの状況や、ご家族様の状況を把握し、町内会長や医療機関にご協力を頂いております。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際、協力医や薬局の説明をさせてもらいつつ、在宅時から通われていた病院の継続を行っております。	歯科を含めて在宅時からのかかりつけ医で継続受診されており、利用者、家族の希望を大切に支援が行われています。眼科については往診対応されています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師の職員がおりませんが、入居者様の体調に変化があった時は、速やかに管理者やケアマネに報告し、受診するようなシステムを作っております。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院になった場合は、こちらでの生活状況や受診に至った経緯を伝えております。また、入院中は、面会をしながらご本人様の状況を確認しつつ、入院先の関係者から状況を聞き、お互いに情報交換を行っております。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ、終末期の受け入れは考えておりません。重症化した場合は、ご家族様と話し合いながら医療機関と連携を図っております。	家族の希望はあるもののその体制にないため、ホームとしてできる支援をされています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	介護歴の浅い職員が多く、急変時や事故発生時の対応は大きな課題のひとつです。内部研修等で実践力を身につけたいと思っております。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策として、職員連絡網を電話からメールに変更したことで時間短縮に繋がりました。また、水害の危険箇所である裏の側溝にはL字溝を設置し、災害時の対策を行っております。	年2回訓練を実施し、連絡体制を検討する等、改善しながら次に繋げています。	地域の人を含めた役割分担、二次避難先について検討し、職員、地域、消防署に周知されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を把握した上で言葉を選び配慮しつつも、方言を用い家庭的で馴染みのある言葉使いや対応を行っております。	利用者のこれまでの生活を理解し、その人に合った対応を心がけ、理念に沿った支援が行われています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望や要望に近づけるようコミュニケーションを取りながら収集を行っております。また、自己決定の難しい方は、そのときの表情や前後の行動を観察し、ご本人の気持ちを汲み取るよう努力しております。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り業務化せず、その日の雰囲気を入居者様がゆっくりと穏やかに過ごせるよう努めております。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院の継続やお化粧品、日々の洋服選びなど、入居者様がおしゃれに過ごせるようなお手伝いをさせて頂いております。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々、食事の準備から片づけまで職員と一緒にを行い、同じ食卓で食事を摂っております。食が楽しいものとして継続できるよう、できる限りの好き嫌いの対応や、季節の食材を使った献立作り、外での食事など雰囲気づくりも重視しております。	畑で野菜を育て、2ユニット合同できりたんぼ会を屋外で行う等、食事を楽しむための工夫をされており、誕生日には家族を呼んで一緒にお祝いされています。訪問当日には、利用者が生き生きとお手伝いされている様子がみられました。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事量や食事形態での提供を行っております。また、食事量や水分量は記録に残し、状態の把握に努めております。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きを行っており、必要な方には液体歯磨きを使用しております。また、夜間は義歯を漬け置き洗浄し除菌をして、清潔保持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿取りパットやリハビリパンツを使用している方もいらっしゃいますが、トイレでの排泄を継続しております。自立されている方でも、排泄の有無を確認するなど、声掛けや見守りに対応しております。	チェック表で利用者のリズムを把握し、個々に応じてトイレでの排泄支援をされています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜や繊維質のものを多く取り入れ便秘対策を行っておりますが、改善されない方には、医師に相談して整腸剤や下剤を処方してもらっております。また、散歩なども取り入れ、軽い運動を行っております。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	おおよその入浴予定日は決めておりますが、気分が乗らない場合は、時間や日にちを変更し対応しております。また、一人ずつ浴槽のお湯を入れ替え、ゆっくりと入浴していただいております。	週2~3回入浴されており、利用者の状態によっては職員2人で介助し、安心して入浴できるように配慮されています。入居前の恐怖感から拒否される方には、声かけや対応を工夫しながら支援されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、ホールでうたた寝される方、お部屋で休まれる方、それぞれ自由に休まれております。また、夜間は皆様それぞれのペースに合わせた就寝時間や起床時間に対応しております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の確認表を記入しながら職員がその都度声を掛け合うことで、薬の飲み忘れや誤薬防止に努めております。また、お薬が変わった場合は、申し送りや連絡帳で、薬の説明書や注意事項を伝え、周知徹底を図っております。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる限り一人ひとりに合わせた気分転換の方法を見つけ、散歩や草取りなど対応しております。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様と喫茶店に出かけることを楽しみにされている方や、だんな様とドライブに出かけることを楽しみにされている方など、皆様それぞれです。外に出かけるのが苦手な方には無理強いをせず、ホーム前での行事等で外気に触れていただいております。	一人ひとりの習慣や楽しみに合わせ、また、畑や近所の散歩に出かけてホームに閉じこもらずに生活できるよう支援されています。移動等に配慮して日帰りの温泉行きを企画されており、車椅子の利用者も外出できる機会をつくっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様のお小遣いは、ご家族様の同意の下、事務所の金庫に保管しております。ご本人から買い物の依頼があった場合、職員が対応しております。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様等種の電話希望があった場合、その都度対応させて頂いております。また、娘さんやご兄弟からはがきが届いた場合は、ご本人様にお渡ししております。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	定期的な換気を行い消臭対策を行っております。また、ホールや玄関には刺激にならない程度の装飾を行ない、季節感を演出しております。	ホーム内はあまり飾り立てることをせず、絵手紙がボードに飾られ、季節毎に交換されています。湿度管理について検討され、ミスト噴霧や外気を取り入れる等の工夫をされています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室で新聞を読まれたり、ソファで談笑されたりと、個々に時間を過ごされております。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される時点で、ご家族様にはご自宅ですべていた馴染みのある物の持込をお願いしております。また、在宅時、布団で休まれていた方に関しては布団の継続をし、ご本人様がゆっくりと過ごせるような居室作りを行っております。	利用者それぞれの希望や状況に応じた環境づくりに配慮されており、担当職員を決めて清潔な居室管理に努めています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様一人ひとりに合わせた設備の活用を心がけております。また、役割や趣味活動を提案することで気分転換を図り、混乱や不安の予防に努めております。		